

日本原子力学会 核燃料部会
令和 8 年度第 2 回運営小委員会議事録

日時 : 令和 8 年 7 月 14 日 (火) 10:00～12:00 於 WEB 会議(Teams)

出席者: 黒崎部会長, 宇田川副部会長, 坂本副部会長, 阿部委員, 浦野委員, 大石委員, 長内委員, 香川委員, 片山委員, 佐藤委員(都市大), 佐藤委員(NDC), 篠原委員(代理:MHI 北芝さま), 園田委員, 西内委員, 松永委員, 森本委員, 安元委員, 山田委員, 西岡(記)

議事:

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり、黒崎部会長からご挨拶をいただいた。

1. 前回議事録等の確認(資料 1)

前回(令和 8 年度第 1 回)議事録は確認済みであり、配布のみ。

2. 令和 8 年度核燃料部会業務分担について(資料 2)

令和 8 年度の業務分担について西岡から説明した。7 月から新委員として、佐藤委員(NDC)、西内委員(関電)、安元委員(原電)および山田委員(東電 HD)が就任されたことを報告した。

3. 令和 7 年度収支実績と令和 8 年度予算について(資料 3)

令和 7 年度の収支実績及び令和 8 年度予算資料について、令和 8 年度第 1 回運営小委から変更ないことを西岡から報告した。

4. 企画小委員会の概要について(資料 4)

6/30(火)に開催された企画小委の内容について、宇田川副部会長より報告いただいた。企画小委では、段階的に若手主体に移行するプラン B' の深堀検討を行った結果、「若手主体のチームによる企画提案体制への移行」という案が有力な案として整理された。

5. 企画小委の在り方について(資料 5)

議題 4 の報告を受け、企画小委の新体制について議論した。運営小委として、今回提示された「若手主体のチームによる企画提案体制への移行」に賛同することとし、メンバー確保などの具体的な運用については引き続き議論することとした。運営小委の議論では、春の年会/秋の大会の両方とも若手チームに担当してもらってはどうかという意見や、新体制は 2027 年春の年会からスタートできないかといった意見が上がった。

6. 核燃料部会運営小委員会における燃料ロードマップの位置づけ（資料 6）

燃料ロードマップについて、規約・細則および HP 上の整理状況を踏まえた位置づけを黒崎部会長よりご説明いただいた。燃料ロードマップは、ジルコネットのような「継続的な活動組織」ではなく、「WG 等の活動により作成・公表される成果物」として位置づけるとする整理案が提示され、当案に対する反対意見はなかった。HP 上の整理として、ジルコネットの活動は核燃料部会で引き取ることとしたため、ジルコネット関連ページは廃止する方針とした。

7. 2026 年度夏期セミナーについて（資料 7）

MHI 北芝さまより、夏期セミナーの準備状況について報告いただいた。参加人数は目標 40 名に対し、55 名の参加申込があった。予算執行承認書については、懇親会費の取扱いについて調査した上で、後日承認を諮ることとした。

7-1. 核燃料夏期セミナーにおける学会講演賞の受賞式について（資料 7-1）

森本委員より、夏期セミナーで実施予定の表彰式の準備状況について報告いただいた。表彰状については学会事務局に依頼済みであり、副賞（メダル）についても制作業者に発注済みとのこと。

8. 2026 年 部会賞選考小委員会 委員の選任について（資料 8）

森本委員より、関連規定および核燃料部会申し合わせ事項に基づき、2026 年度選考委員（案）が提示された。運営小委にて審議を行い、提示された案を承認した。

9. 核燃料部会報について（資料 9）

香川委員より、2026 年 7 月に発行予定の核燃料部会報（No. 61-2）の進捗状況を報告いただいた。前任の田伏氏（関電）から関係者への執筆依頼を発信済みであり、7/24(金)目途で作業いただく予定。

10. 今後の核燃料部会 HP 管理の体制について（資料 10）

浦野委員より、今後の HP 管理体制の検討状況を報告いただいた。現管理者より、まずは現行の管理方法を理解いただくのが良いとご意見あったため、8 月中旬に web 説明会を実施いただくこととなった。詳細な日程調整は、浦野委員より別途ご案内いただく予定。現行の管理方法の引継の検討と並行して、さくらレンタルサーバーの 2 週間お試しプラン（無料）を申し込み、サーバへのアクセス可否の確認を進める。また、引き続き HP 管理のノウハウを有している個人を探していくこととした。

11. 年会実行ワーキンググループ設置について（資料 11）

5 月の部会等運委員会において、年会大会の運営が支部から WG に完全移行することが承認され、当 WG に各部会から 2 名程度選出する必要があることを、

坂本副部長よりご説明いただいた。核燃料部会としては、国内企画担当 1 名、企画小委から 1 名を選出する方針とした。

1 2. TopFuel2026 の準備状況について (資料 12)

園田委員より、TopFuel2026 の準備状況についてご説明いただいた。ケータリング会社は決定済みであり、スポンサー関連業者との調整は引き続き実施。Plenary での基調講演は坂本副部長にご担当いただくこととしたが、資料作成については黒崎部会長および宇田川副部長に適宜分担いただくこととした。

1 3. 部会等運営委員会からの連絡事項 (資料 13)

坂本副部長より、部会等運営委員会の内容をご説明いただいた。ダイバーシティ推進委員会より、秋の大会でのポスター発表依頼があったが、準備期間が短いことから今回は見送ることとした。

1 4. 日韓原子力学生・若手研究者交流事業運営小委員会委員選出について (資料 14)

坂本副部長より、標記委員の選出について他部会（核融合工学部会、材料部会、水科学部会）と協議した結果をご報告いただいた。協議の結果、東北大の笠田先生（材料部会）にグループⅡの代表を務めていただくこととなった。また、日韓交流事業の助成制度を J-K Workshop に活用できないか、今後グループⅡで協議することとなった。

1 5. 2026 Korea-Japan Nuclear Materials Workshop について (資料 15)

坂本副部長より、標記ワークショップの状況をご説明いただいた。標記ワークショップは 9/17(木), 18(金)に開催となり、核燃料部会全体に開催案内および参加希望調査依頼のメールを発信済み。

1 6. Asian Zirconium Workshop (AZW) の報告について (資料 16)

6/30(火)～7/2(木)にソウル大学で開催された AZW について、阿部委員より参加報告いただいた。今後の会議継続に当たって、次回 AZW (2028 年 中国開催) までに MOU 改訂が必要であり、改訂版の MOU が提示され次第、運営小委で審議することとした。

1 7. その他

令和 8 年度第 3 回運営小委は 9/16(水)に実施予定であることを周知した。

以 上